

ご使用前に必ずお読みください。

鋼管マルチ継手型圧着ソケット

使用方法

●耐圧力: 1MPa (10kgf/cm²) ●耐熱温度: -30℃~130℃

鋼管(ステンレス管を含む)と、様々なネジ込み継手との接続箇所からの漏れを修理することができます。
継手の端面(ふち)のみを押さえるため、継手の寸法や形状に関係なくご使用いただけます。
水・湯・オイル・蒸気の各流体の漏れ止めに最適です。

※この圧着ソケットは直管部にはご使用できません。直管部の補修には鋼管直管専用型もしくは鋼管兼用型圧着ソケットをご使用ください。

●適用の範囲の一例

バルブ

フランジ

片側(フランジボルトの六角頭がある側)のみ使用可

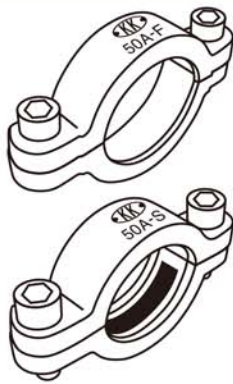
ドレンネジ継手

ステンレス継手

エルボの両端

チーズの3方向

1



M-F金具

この金具を継手端面にセットします。

M-S金具

M-F型金具が後ろへ下がらないよう、ストッパーの役割を果たします。(内側にゴム板が接着されています。)



ゴムリング

M-F金具の内側に取付けます。



六角レンチ 2本

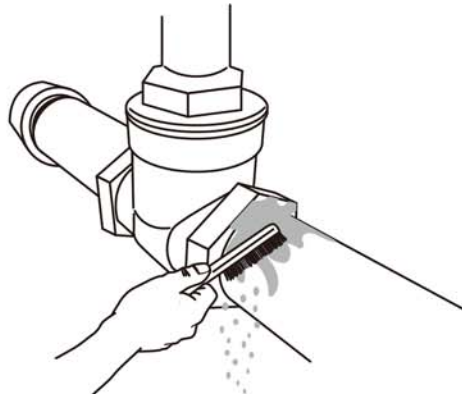
パイプハンドル 1本

(注) 50A以上の方に付属しています。

部品の確認

左図が本製品の構成部品です。すべてが揃っているかをご確認ください。

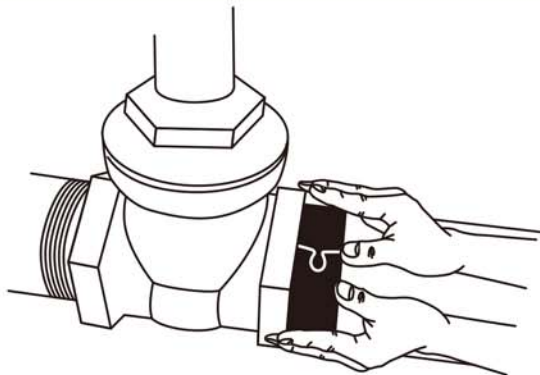
2



前処理

補修する部分のサビやシール材をワイヤーブラシ・ヤスリ等を用いて落としてください。サビこぶ等の付着物はノコ刃等で確実に落とし、段差部を直角に仕上げてください(この前処理は極めて重要で、補修の成否を左右しますので絶対おろそかにしないでください)。

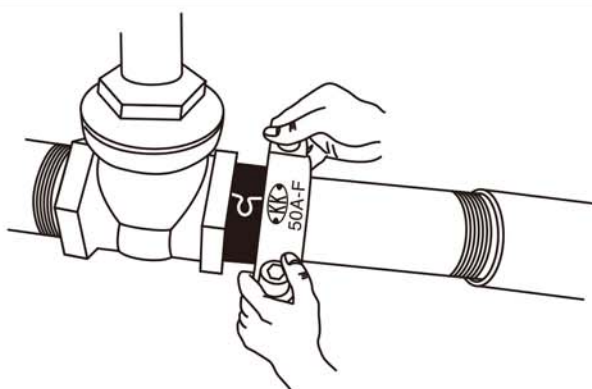
3



ゴムリングの取付け

管にゴムリングを取付けます。補修する継手の端面(ふち)に、ゴムリングが接するようにセットしてください。

4

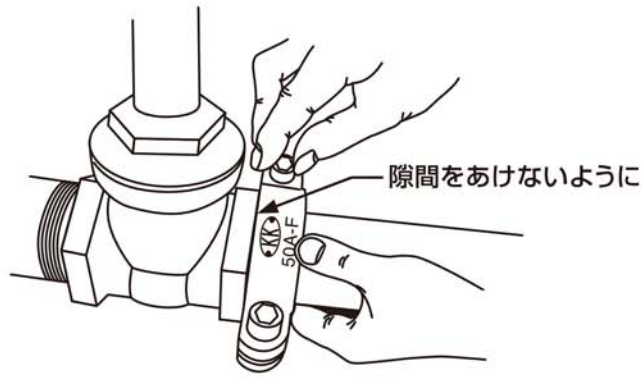


M-F型金具の取付け ①

M-F型金具をゴムリングの上にかぶせます。ゴムリングの継ぎ目が金具の中心あたり(KKマーク付近)にくるように金具をかぶせてください。

ウラ面へ

5



M-F型金具の取付け ②

ゴムリングの上にかぶせたM-F型金具を軽く継手側へ押しながら、ボルトを手で締めて継手に接するように固定してください。その際、ゴムおよび金具と継手端面との間に隙間ができていないかを確認してください。

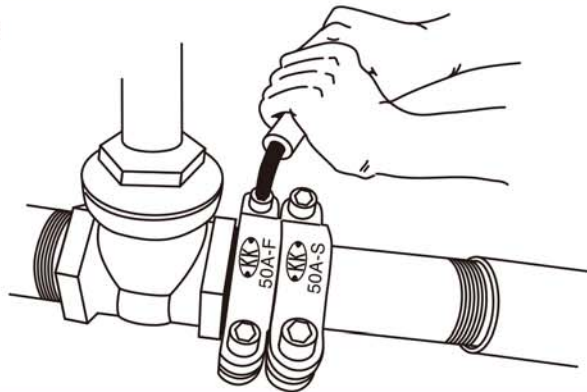
6



M-S型金具の取付け・締め込み

M-F型金具の後方(継手から遠い側)に、M-S型金具を取付けます。M-S型金具がM-F型金具から離れないように、M-S型金具を前へ軽く手で押しながらボルトが回らなくなるまで強く締め込みます。(50A以上のサイズには、締め込み用の六角レンチが付属しています)。締め込み後、2つの金具の間に隙間があいていないかを確認してください。

7



M-F型金具の締め込み

最後にもう一度、M-F型金具をボルトが回らなくなるまで締め込んでください。こちら50A以上のサイズには、六角レンチと更にパイプハンドルが付属しています。最初は六角レンチだけで締め込み、レンチの締めが重くなればパイプハンドルをレンチに差し込んで、両手で締め込んでください(偏締めにならないようご注意ください)。

安全にご使用いただくために

- ① 圧着ソケットを誤って足の上に落としますと、ケガをすることがありますので、絶対に落とさないようご注意ください。また、安全のために、作業中は安全靴を着用してください。
- ② 特に高所で取り付け作業の際は、下に人がいないことを確認した上で、作業を行ってください。また落下防止の対策を行ってから作業をしてください。
- ③ 作業をする時は必ず軍手等の保護具を着用し、ケガを防止してください。
- ④ 温度の高いパイプを補修する時には、やけどをしないように運転を止めてパイプ温度を下げた後から行ってください。
- ⑤ 圧着ソケットの能力以上の圧力のあるパイプ補修は行わないでください。
- ⑥ 規定仕様以外のみだりな改造や、製品の独自変更はおやめください。
- ⑦ どのようなタイプの圧着ソケットでも、パイプの突き合わせ接続や、継手との接続工事はできません。
管の腐食等により、本製品を取り付ける事によってその箇所が破損する恐れがある場合は絶対に使用しないでください。

⚠️ ご注意

ゴムが重要!

圧着ソケットは、高い温度や表面の傷んだパイプに使用された場合、ゴムの寿命が短くなりますので予めご了承ください。
ただし、新しいゴムに交換していただくことによって長期にわたる補修も可能になります。
また、一度取付けられた圧着ソケットを他の箇所にも再使用される場合も、ゴムを新品と取替えていただきますよう、お願いいたします
(交換用ゴムは圧着ソケットの型番をご指定の上、販売店にお申し付けください)。

※ 本使用説明書のデータ数値は、当社内での試験値であり、保証値ではありません。ご使用にあたっては、目的の条件に適用できるかを十分ご検討ください。

また、当社の製造上の原因とみられる不良があった場合は新品とお取替えいたしますが、本製品を取付けたことによる直接あるいは間接的に生じた損害の責はご容赦願います。

※ 本使用説明書の内容は、改良のため予告なく変更する場合がありますので、予めご了承ください。

KK 児玉工業株式会社

〒550-0013 大阪市西区新町3丁目7番5号
TEL.06-6541-4827 FAX.06-6541-4826
E-Mail:info@kodama-industries.co.jp

URL●<http://www.kodama-industries.co.jp>